

No. 14

キーワード		VAV(可変風量排気式)			
対象	利用者	管理者	計画者	設計者	危険度レベル
質問者		◎	◎		—
回答者	△	△	◎	◎	
問題と対応	Q			A	
	VAV(可変風量排気)式ヒュームフードを導入しましたが、ランニングコストが下がらないのはなぜでしょうか。			一般的なVAVシステムは、局所排気装置のサッシ開度を基に風量を抑制し(面風速は常に一定)、給排気のランニングコストを低減する仕組みです。このためサッシをこまめに閉じることにより、無駄な排気を抑制し省エネが図れています。原因の一つとして、サッシを開いたままの使用状態では一定量排気型と変わらないためランニングコストが下がらない場合があります。	
参考資料	局所排気装置と運用・管理の基礎知識とのリンク関係				
	3. 運用と使用方法 4. 排気設備と換気設備		局所排気装置と運用・管理の基礎知識と要求事項整備		
			項目名称	参照先	
			1: 実験室における局所排気装置の基礎知識		
			2: 気流構成と運転条件		
			3: 運用と使用方法	○	
			4: 排気設備と換気設備	○	
			5: 実験排ガスの処理		
		6: 実験室内の環境管理			
		7: 保守と点検			
		8: 実験室に関する要求項目			